

皆さんの意見を
反映させる
市議会を
傍聴しましょう

ひの 市議会だより

市議会だより 第103号

平成2年5月28日

発行日 野市議会

住所 日野市神明一丁目12番地の1

電話 (0425) 85-1111

内線 601 ~ 604

第1回定例会

平成2年度予算決まる

一般会計予算額

391億4千313万円余(対前年度比9・8%増)

平成2年第1回定例会は、3月9日から4月6日までの29日間にわたり開かれました。今定例会は、市議会議員選挙後、初の議会であり、正副議長選挙、各委員会構成と正副委員長選出、組合議

議員の選出など議会構成が行われました。市長提出議案の平成2年度予算を初め、35議案が可決、1議案が否決されました。一般質問は20人の議員が行いました。

本会議の経過

今回の第1回定例会は、3月9日に招集され、午前10時23分に開会しました。今定例会は、市議会議員選挙後、初の議会であり、議長選挙、初議長の選出、議長、副議長などの議会構成が行われました。

14日には、議長選挙が行われ、小山良悟議員(自由民主党)が選ばれました。新議長による議席の指定と会議録署名議員の指名が行われました。15日、副議長選挙が行われ、福島敏雄議員(日本社会党・市民連合)が選ばれました。

19日、常任委員会の委員の選任、一般特別会計予算特別委員会設置と委員の選任、審議に先立ち、議長、副議長などの議会構成が行われました。14日には、議長選挙が行われ、小山良悟議員(自由民主党)が選ばれました。

23日、一般会計予算特別委員会開催。28日、特別会計予算特別委員会開催。30日、日野市立総合病院改築基金条例の制定の件について、市長より名称を日野市立総合病院建設基金条例に訂正するとの申し出があり、議会はこれを承認し、再び総務委員会、一般会計予算特別委員会が開かれました。

23日、一般会計予算特別委員会開催。28日、特別会計予算特別委員会開催。30日、日野市立総合病院改築基金条例の制定の件について、市長より名称を日野市立総合病院建設基金条例に訂正するとの申し出があり、議会はこれを承認し、再び総務委員会、一般会計予算特別委員会が開かれました。

就任によせて

このたび私たちは、三月議会で、議長及び副議長に選ばれ、その職責の大きさに身の引き締まる思いでいます。内外の激しく揺れ動く情勢の中で、本市の人口も16万人を超え、行政に対する市民要望もより一層複雑多岐にわたつてきております。

特に、先進諸国でも例がない急激な高齢化社会に突入し、課題を慎重に審議し、市民の期待と信頼に応えることも、二十世紀への飛躍と日野市のめざす都市像「緑と文化の市民都市」の建設に全力をあげる決意でございます。

今後とも、なお一層の指導、協力をお願い申し上げます。

主な議案と内容

職員定数条例(否決)

【条例改正が提案された趣旨】 市長からの提案は職員を38名ふやして、その総数を1千332名としたというものです。提案するにあたっては、平成元年第3回定例会で修正可決された50名の定数増にもつき配置した後、各課から増員要請を調整し、①今後の事業計画として国勢調査、滞納整理等の行政部門に職員5名を増員。②看護婦等医療従事職員の充実のため病院部門に14名を増員。③平成2年度開設予定の百草図書館、第3中学校の給食開始に伴う給食調理員、遺跡調査に伴う学芸員等、教育委員会の職員19名の増員を行いたい、というものです。

【賛否の意見】 ①前回(平成元年第3回定例会)の87名の増員に対する議会の50名の修正可決による実施がまだなされていない現状で、増員する必要はない。②職員削減のための内部努力が十分なされていない。③教育委員会職員に対する監査委員の指摘事項について、その後の対応が認められない。④各部課の意見調整のうえ、労使間の合意にもとづくものであり提案を尊重すべきである。⑤遺跡調査等、事業に支障を来すものもあり、条件を付して認めてもよいと思う。

【採決の結果】 挙手採決の結果、原案に対し、賛成少数で否決されました。

市立総合病院建設基金条例(可決)

【提案の目的】 日野市立総合病院の建設資金に充てるため、日野市立総合病院建設基金を設置するものです。このことは、現在の日野市立総合病院の老朽化、狭隘等による利用者の利便性を考えると一日も早い建て替えを必要とするため、当面の問題として、病院建設にともなう大規模な費用の基金とするものです。

【条例の内容】 日野市立総合病院の建設基金として、毎年度一般会計歳入歳出予算で定めるものとしています。今後の予定としては、平成2年度10億円を基金積立とし、3年間にわたり30億円を積立することを目標としています。なお、この基金の処分にあたっては、日野市立総合病院の建設に関する経費に充てる場合に限り、基金の全部又は一部を処分することができるとしています。



入学式

平成2年度の予算審査から

一般会計予算

平成2年度、一般会計予算特別委員会は、3月23日、26日、28日未明及び30日に慎重な審査が行われました。

この特別委員会は、委員15名により構成され、予算の説明員には市長、助役、収入役、教育長、担当部・課長を招き行われました。

審査に入る前に、一ノ瀬隆委員を委員長に、天野輝男委員を副委員長に選出し、予算の審査に入りました。審査は歳入全般から始まり、次に歳出の議会費、総務費、民生費、衛生費、労働費、農業費、商工費、土木費、消防費、教育費、諸支出金、予備費の順に事業計画と予算額に質疑、指

特別会計予算

平成2年度、特別会計予算特別委員会は、3月28日に開催され、慎重な審査が行われました。

この特別委員会は、委員14名により構成され、福島盛之助委員を委員長に、鈴木美奈子委員を副委員長に選出し、予算の審査に入りました。

審査は、以下のとおり会計別に順次行われました。委員会との結論は、各会計とも原案を可決すべきものとなりました。

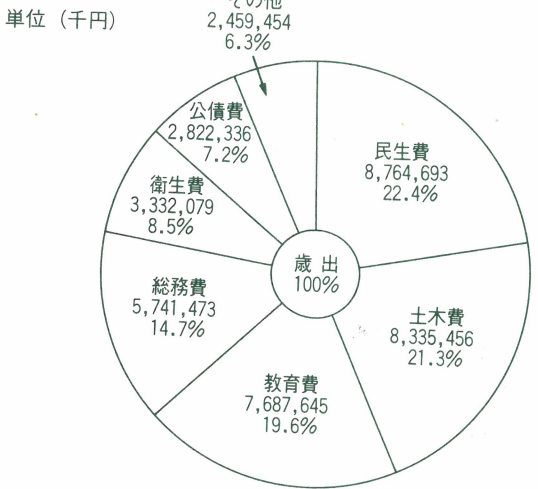
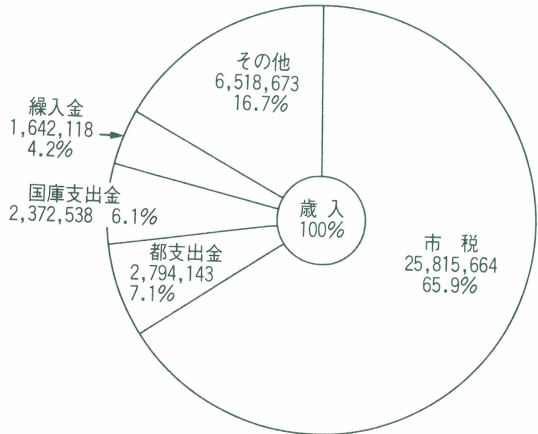
国民健康保険特別会計予算 44億3千234万7千円
(前年対比3・1％増)
土地区画整理事業特別会計予算 3千615万円
(前年対比8・1％増)

48億9千186万5千円
(前年対比7・5％増)
下水道事業特別会計予算 63億9千47万8千円
(前年対比20・9％増)
市立総合病院事業会計予算 30億7千854万2千円
(前年対比7・8％増)

受託水道事業特別会計予算 19億3千200万円
(前年対比17・39％増)
老人保健特別会計予算 44億7千540万円
(前年対比10・4％増)
老人入院共済事業特別会計予算 3千615万円
(前年対比8・1％増)

平成2年度一般会計歳入歳出構成図

予算総額391億4,313万6千円



一般会計予算特別委員会の審査風景

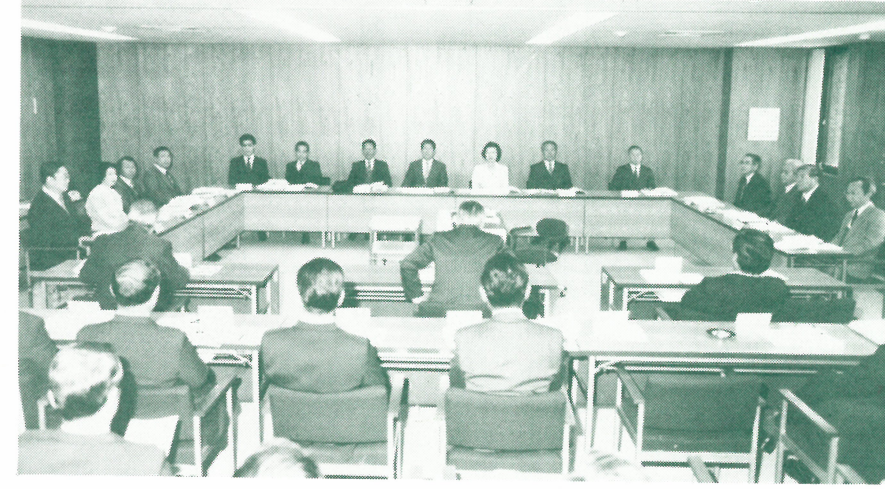
一般会計予算
各会派の総括意見(要旨) 発言順

公明党
(原案賛成)
公明党を代表しまして、原案に賛成する立場で意見を申し上げます。
主な事業を見ると、高齢化社会への対策が立てられており、また24項目のレベルアップ事業があり中期計画に沿った事業を評価いたします。
しかし、指摘をしておかなければならない点があります。一つは投資的経費の伸び率が高くなっていること。今後基金の繰り入れで対応していくのかどうか。次に市立総合病院の建設基金の問題です。長期計画の中で位置づけがはっきりしていないことを危惧する点であります。この点拙速にならない対応策をぜひお願いしたいわけであり、また、さらに次の点について要望いたします。①本年度を福祉元年とし長期の福祉基本計画のスタートの年としてほしい。②青少年育成等の対策についてはソフト面もきめ細かく進めたい。③地価、住宅家賃の高騰に対する対策等。ぜひ16万人市民の方の生活の豊かさに向けての施策を進めていただく事をお願いして意見いたします。

日本共産党
(原案賛成)
予算は「光る市民本位の革新市政」をうたいふに表現することができると思います。
市長が所信表明の中でも述べております精神が、72項目の新規施策、レベルアップ24項目となつてあらわれております。この中で次の点について特に評価します。
①病院建設が本格化する建設基金10億円の積立。②高齢者居室の発足。③特別養護老人ホーム浅川苑の開所。④中学校図書室への臨時職員配置。⑤百草図書館の開館。⑥三中の食堂の完成。⑦町づくり、区画整理、下水道事業の前進。さらに産業や消費者、勤労者への施策の前進等。一点だけ要望があります。市内で活発に活動している福祉団体への補助金を今後改正する努力をお願いします。最後に不公平税制の改正、住民本位の福祉の推進、下水道事業の前進を願ひまして意見いたします。

市民クラブ
(原案賛成)
算と言ふ案が提示され、より一層の市民サービスと行政の充実を意欲した意欲のあらわれと受けとめ、評価するものです。
しかし、市民の意識はますます多様化の方向にあり、行政に対する期待は高まるばかりです。財源の多くは貴重な新年度予算はまさに大型予算と成る立場から意見を申し上げます。
成2年度一般会計予算案に賛成する立場から意見を申し上げます。

日本社会党・市民連合
(原案賛成)
日本社会党・市民連合を代表いたしまして、一九九〇年度一般会計予算に賛成の立場で意見を申し上げます。
堅実な内需を想定した歳入を申し上げ、さらに要望をしておきます。
1点目は、下水道の早期実現のため市長を初め一丸となり取り組んでいただきたい。
2点目は、公園内野外美術像制作設置の件です。過去に議会でもミニメント事業費が修正されたことや、検討委員



特別会計予算特別委員会の審査風景

自由民主クラブ
(原案賛成)
自由民主クラブを代表いたしまして、平成2年度一般会計予算案を消極的に賛成する立場で意見を申し上げます。
予算委員会での指摘事項を修正されたことや、検討委員

予算の編成は、最近の為替相場における円安の影響に不安があるものの、大筋では妥当と判断されるものです。
歳出面では、森田革新市政五期目の信託を市民より受けたことを反映した積極的な財政編成になっており、平和事業関係費の増額、特別養護老人ホームの開所、大腸ガン検診、五小の改築、三中の食堂の新築、青年の森の建設、百草図書館の開館等十分評価するところであります。
さらに、平和行政の条例化、高齢者側に立った福祉事業の推進、増え続ける膨大に對する対策、市立総合病院の建設が設置された経緯を尊重し事に当たっていただきたい。
3点目は、清掃費のし尿収集ですが、トイレの水洗化により収集車が減車されているので将来計画を立て、財政面に生かしていただきたい。
4点目は、市立総合病院の建て替えの件です。基金の積立は喜ばしいことですが、建て替えについては多くの方の意見を聞いていただきたい。
5点目は、緊急通信システム導入計画調査の件です。市民の生命・財産を守るため、一日も早く施設を確保し、実施されることを要望いたします意見いたします。

議員の委員会の所属決まる(議席順)

正副議長は、総務委員会に所属します。

 ⑦ 天野 輝男 (自由民主クラブ) 文教委員 スポーツ・文化施設 対策特別委員	 ⑥ 土方 尚功 (自由民主クラブ) 建設副委員長 スポーツ・文化施設 対策特別委員 議会運営委員	 ⑤ 高橋 徹 (自由民主クラブ) 文教委員 下水道対策特別委員 議会運営委員	 ④ 小川 友一 (自由民主クラブ) 厚生委員 スポーツ・文化施設 対策特別委員	 ③ 田原 茂 (公明党) 厚生委員 下水道対策特別 副委員長	 ② 執印 真智子 (無党派) 文教委員 市立病院等対策特別 副委員長	 ① 沢田 研二 (市民クラブ) 厚生委員 下水道対策特別委員長
 ⑮ 藤林 理一郎 (自由民主クラブ) 総務委員 市立病院等対策 特別委員長	 ⑭ 福島 盛之助 (自由民主クラブ) 文教委員長 市立病院等対策 特別委員	 ⑬ 馬場 繁夫 (公明党) 建設委員長 市立病院等対策 特別委員	 ⑫ 宮沢 清子 (公明党) 建設委員 交通対策特別委員 議会運営副委員長	 ⑪ 内田 勲 (市民クラブ) 建設委員 スポーツ・文化施設 対策特別委員長	 ⑨ 佐藤 洋二 (日本社会党・市民連合) 建設委員 交通対策特別委員長	 ⑧ 下村 功 (日本社会党・市民連合) 総務副委員長 市立病院等対策 特別委員
 ⑳ 黒川 重憲 (公明党) 総務委員 交通対策特別委員	 ㉑ 夏井 明男 (公明党) 文教副委員長 スポーツ・文化施設 対策特別副委員長	 ㉒ 奥住 日出男 (市民クラブ) 総務委員 交通対策特別委員 議会運営委員	 ㉓ 鈴木 美奈子 (日本共産党) 厚生委員長 スポーツ・文化施設 対策特別委員	 ㉔ 板垣 正男 (日本共産党) 文教委員 交通対策特別副委員長	 ㉕ 一ノ瀬 隆 (日本社会党・市民連合) 厚生委員 下水道対策特別委員 議会運営委員	 ㉖ 高橋 徳次 (自由民主クラブ) 厚生副委員長 交通対策特別委員
 ㉗ 米沢 照男 (日本共産党) 建設委員 市立病院等対策 特別委員 議会運営委員	 ㉘ 竹ノ内 武俊 (日本共産党) 総務委員 下水道対策特別委員	 ㉙ 名古屋 史郎 (日本社会党・市民連合) 文教委員 スポーツ・文化施設 対策特別委員	 ㉚ 谷 長一 (自由民主クラブ) 総務委員長 下水道対策特別委員	 ㉛ 市川 資信 (自由民主クラブ) 建設委員 市立病院等対策 特別委員	 ㉜ 古賀 俊昭 (自由民主クラブ) 文教委員 下水道対策特別委員 議会運営委員長	 ㉝ 旗野 行雄 (自由民主クラブ) 厚生委員 交通対策特別委員 議会運営委員

一 般 質 問 要 旨

各定例会では、市政全般について、一般質問が行われますが、今回は20名の議員から39件の質問がありました。

谷 長一

(自由民主クラブ)

平成2年度予算編成について、財政環境と重点課題について問う

問、予算編成の考えを問う。

答、企画財政部長

一般会計の歳入は前年度比約20億円の増収を見込み、不足分の16億円は基金から繰り入れました。予算編成時の姿勢としては、財源の確保、経常経費の節減、財源の効率的配分、時代に即応する行政サービス展開といったことを確立し、日野市基本計画を基本にした五つの柱に沿った積極的な予算に努力しました。

答、市長

昨年の市長選挙で申し上げた多くの公約を具体化する予算も並行して組んでいます。そして当面する諸課題に真

問、水たまり等の現状を把握し義務教育に支障を来さないように整備できないか問う。

答、学校教育部長

小中学校の校庭整備は、校庭の中に水が引いていくというシンダー舗装の方法で計画的に実施しています。

第一小学校は平成3年度に整備する予定ですが、校庭には埋蔵文化財の問題があり、この調査をするには相当期間校庭が使えなくなります。このため埋蔵文化財に当たらないよう土を盛る方法と、削れる部分とを兼ね合わせた中で、整備ができるかどうかを中心に考えを進めているところです。

問、食品の安全性について

答、食品安全研究グループの調査研究内容を行政としてどのように捉えているか問う。

問2、地場野菜の利用と、農薬検査について問う。

答、市長、学校教育部長

答1、今後、生かせるところは、地域社会に生かしていく方法で進めたいと思います。

答2、小・中学校14校で給食に地場野菜を使っています。

農業検査はしていませんが、できるだけ低農薬栽培の協力を得ています。

執印 真智子

(無党派)

市内の食品の安全性について

問1、食品安全研究グループの調査研究内容を行政としてどのように捉えているか問う。

問2、地場野菜の利用と、農薬検査について問う。

答、市長、学校教育部長

答1、今後、生かせるところは、地域社会に生かしていく方法で進めたいと思います。

答2、小・中学校14校で給食に地場野菜を使っています。

農業検査はしていませんが、できるだけ低農薬栽培の協力を得ています。

市川 資信

(自由民主クラブ)

高幡駅周辺の区画整理事業及び総合病院建設について問う

問1、換地設計がされ、権利者に公開された後の道路変更等は、区画整理法に抵触しないのか問う。

問2、「高幡土地区画整理事業調査報告書」の内容と違っていないのか。

問3、遅れはありますか。

問4、南平で個人の方が市の仕様に合わせた病院の建物を作り、市が賃貸で借り受けたらどうかという話を、何故断ったか。

問5、農水省跡地、全農クラブ、仮称二番橋浅川右岸の大蔵省用地、多摩動物公園駅付近調整区域等広範な用地が

あるのになぜ交渉しないのか。問6、児童数が減少しているなかで農水省跡地に中学校用地の必要性があるのか。

問7、区画整理で権利者との交渉が難航した場合、他の場所に移転する可能性はあるのか。

答、市長、都市整備部長

答1、公告、縦覧等を行いますが、法律に違反しません。

答2、権利者の方と十分話し合いながら高幡地区の活性化に努めています。

答3、遅れはありません。

答4、地積が狭いので断りました。

答5、国有地、民有地等は、確保する事が困難であり不可能に近いからです。

答6、万願寺の区画整理による人口増により将来必要になるからです。

答7、現在課せられた病院用地確保に最大限努力します。

名古屋 史郎

(日本社会党・市民連合)

市職員などの福利について

問1、出先の職員なども含め市職員及びそれに関連する人々の福利を向上させる必要があるという観点から過去2回一般質問をしました。その中で鋭意前向きに検討するとうる答がありました。その中

答、清掃部長

答3、クリーンセンターに従事している職員は、市の職員と関連職員を合わせ100人を超える職員が働いております。

昭和60年に新施設が建設されてから2階に畳と机、いすを入れた休憩室があり、現場の職員はそこで食事をとったり休憩をしております。市の食堂からの出前制度の実現に期待しているところです。

問2、職員互助会への交付金が増額され、会費も増額される予定と聞いているが、増額の利用計画を問う。

問3、食事の問題や休息室等清掃部としてどのような前進がされたか問う。

答、総務部長

答1、食堂の業者がこころで交

替するわけですが、新しい業者から出先に配達することを十分検討するという返事をもらっており、その実現について期待しているところです。

答2、平成元年度事業の中で縮小あるいは中止されたものをレベルアップまたは復活するということを考えております。具体的なレベルアップ事業は観劇会、教養講座、夏休みの写真コンクール等です。

また、山中湖畔に福利厚生施設を設けます。

答、清掃部長

問1、出先の職員なども含め市職員及びそれに関連する人々の福利を向上させる必要があるという観点から過去2回一般質問をしました。その中で鋭意前向きに検討するとうる答がありました。その中

答、総務部長

答3、クリーンセンターに従事している職員は、市の職員と関連職員を合わせ100人を超える職員が働いております。

昭和60年に新施設が建設されてから2階に畳と机、いすを入れた休憩室があり、現場の職員はそこで食事をとったり休憩をしております。市の食堂からの出前制度の実現に期待しているところです。

質問

旨

れますが、今回は20名の議員から39件の質問がありました。

夏井 明男

(公明党)

日野市内で余暇を過ごす
との観点から質問する

問、市内で余暇や自由時間を
親子で過ごす観点より問う。
①浅川下水処理場上の利用計
画。
②浅川・多摩川の利用計画。
③多摩動物公園の裏門開設。
④農業用水路の利用計画。
⑤駒形公園周辺の整備計画と
その内容について。
⑥南平丘陵公園の整備。
⑦黒川公園内生活道路の整備。
⑧市営学習室の設置構想。
⑨都立美術館の誘致。
答、建設部長
①浅川下水処理場上部は北川
原公園として位置づけられ、
9.6ヘクタールの運動施設を中
心とした総合公園になります。

奥住 日出男

(市民クラブ)

安全なまちづくりは、そ
の後のように推進され
ているか

問1、交通安全を推進するた
めの組織体制について問う。
問2、栄町五丁目の交差点に
ついて問う。
問3、違法駐車について問う。
答、建設部長
答1、本年2月に日野市交通
安全推進本部が庁内に発足し
ましたので精力的に進めま
す。②、ミラー、標識等の設置
について各道路管理者と今後
協議し、対処して行きます。
答3、本年3月に日野駐車対
策協議会が、日野警察署に設
置され、管理課長、土木課長
が参加し、改善に努力します。

藤林 理一郎

(自由民主党)

住みよい街づくりをめざ
して

問、次の3点に対する市の対
応について問う。①日野駅の
改良②公共下水道の整備③日
野駅を発着するバスの運行時
間の延長について。
答、市長
答1、日野駅は、なかなか趣
のある駅舎ですが、駅の機能
としては、不便、不十分です
ので、駅ビルにし、近代化、
利便化を図ってほしい、と旧
国鉄時代、今日のJRになっ
てからも、いろいろな機会を
とらえ、当局に要請してきて
おります。市民運動も起きて
おり、日野市の将来発展のた
めに、ぜひ実現しなければな
らない一つの課題であります。

住民本位の行政はどのよ
うに推進されているか

問1、葬祭時の地区センター
の使用許可について問う。
問2、循環バス3路線(①三
沢―百草―高幡②日野台―豊
田③豊田―南平―高幡)の具
体的計画について問う。
答、市長



オープンした特別養護老人ホーム浅川苑

一ノ瀬 隆

(日本社会党・市民連合)

美術館建設のための一層
の努力を

問、多摩地域への都立の新美
術館は彫刻公園的な野外展示
の機能をもつものが考えられ
ているが、これには程久保が
うってつけであり「彫刻の森」
を日野市に実現したい。
町田市などには市立美術館
があり、これから建設を目指
す市もある。日野市に美術館
をほしいという市民の強い要
望に応えるには、都立がだめ
なら他市に負けない市立美術
館を建てるべきだと思ふ。
しかし都立の誘致合戦、戦
いはこれから、美術館誘致の
ために全力を尽す決意を聞き
たい。
答、市長

下村 功

(日本社会党・市民連合)

学校給食の自校制度の堅
持等について

問、児童の健康を守るため安
全食品の積極的利用を問う。
答、学校教育部長
日野市の学校給食は加工食
品を使わない手づくりをモツ
トとし、無添加食品、無着
色食品、低農薬栽培農産物を
利用するよう努めています。
今後とも自校方式を堅持しつ
つ環境の改善と内容の充実に
努力してまいります。

コンポストの普及につ
いて

問、廃棄物対策、環境問題、
省資源を考える上で、積極的
な推進を問う。
答、清掃部長

米沢 照男

(日本共産党)

固定資産税評価替えの凍
結について

問1、日野市における税率の
上昇予測を問う。
問2、評価替えの凍結を国に
積極的に働きかけよ。
答、市民部長
答1、平成3年度を基準年度
として実施されますが、現在
評価替えにともなう試算では
上限で21・1%の上昇率が考
えられます。
答、市長
答2、政府に対して、地方自
治体の意思として、今後も、
機会を逃がさず提言するよう
努力します。

土方 尚功

(自由民主党)

地区幹線道路整備計画の
策定を

問1、日野市の都市計画道路
の整備は多摩地域全体として
の比較では遅れていると思
うが、もっと進めるべきでは
ないか。また、市道の幹線道
路の整備状況を問う。
問2、道路台帳整備が大変遅
れているが、今後の見通しを
問う。
問3、昭和63年度から認定路
線再編成ということで予算化
されているが、その成果につ
いて問う。
問4、拡張された道路を結ぶ
中間の道路の整備の考え方に
ついて問う。
答、建設部長
答1、都市計画道路の整備率
は35・4%で、多摩地区平均
をやや下回っています。道路
の機能に応じた整備水準を設
ける必要があり、この点につ
いては進めて行きたいと思
っております。また、市の幹
線道路の整備率は、一級幹線
道路17路線で約70%、二級幹
線道路59路線で約40%です。
答2、市全体の約33%が完了
しています。今後、測量の方
法を変え早期に台帳整備を図
るよう努力しています。
答3、大正時代の旧道路法で
の認定路線が残っており、昭
和63年度より3カ年計画で編
成作業をしてきており、間も
なく完了します。平成2年度
中に議会に認定・廃止を願
いしたいと考えております。
答、市長
答4、区画整理を行う地域は
その事業費の中で、行わない
地域は、理解のいただける価
格を設定し、解決出来ること
を考えております。

高橋 徹

(自由民主党)

特別養護老人ホーム(仮)
浅川苑への緊急車両等の
取り付け道路建設は一日
も早く完成させよ。

問1、浅川苑建設に対し、各
関係機関より行政指導が行な
われたが、消防法にかかわる
点を問う。
問2、浅川苑進入道路につ
いて、今どういう対応をと
っているのか問う。
問3、万一、緊急車両が入る
事態が生じた時、市は既存の
道路での対応をどう考えてい
るのか。
問4、堤防の上からでは、消
火栓まで車の吸管が届かない
と思うが、又、消火栓はいく
つあるのか。
問5、このような種々な問題
があるが、今後どのように対
応していかれるのか。
答、市長、建設部長
答1、消防署から道路につ
いて、整備するように指導をさ
れました。
答2、浅川苑の行きどまりか
ら、関徳小学校西側を通り今
ある道路へ接続するルート
を計画中で現在、私有地、大蔵
省の土地を交渉していること
です。
答3、通常の消防車(はしご
車を除く)は、この場所に入
る事が出来る幅員になってお
ります。又、堤防の上からも
消防活動が出来ます。
答4、施設の中の貯水槽から
2カ所、スプリンクラー用貯
水槽から1カ所送水口が有り
ます。又、浅川の水を利用す
る考え方もあります。
答5、手順を経て暫定的なこ
とから基本的なことへと解決
を図りたいと、こう考えてお
ります。

一般

要

各定例会では、市政全般について一般質問が行わ

竹ノ上 武俊

(日本共産党)

国民の間に意見の大きな違いがある「新学習指導要領」を学校教育に押しつけてよいかと問う

問、日の丸「君が代」の国旗・国歌としての法的根拠と強制、義務化に反対の世論が強いが、教育委員会は学校、教員、父母に対してどのように指導をしているか問う

答、教育長

法的根拠はありませんが、慣習法という形で「日の丸」「君が代」の指導が行なわれているのも事実です。また、学習指導要領「は法的拘束性を保持している」と認識し、十分教職員等の共通の理解を得ながら指導してまいります。

高幡踏切りの立体交差促進

問、高幡踏切りの立体交差の促進状況について問う

問2、高幡踏切りに入る七生交差点からのバイパス道路の建設状況について問う

問3、多摩動物公園南平門の開設計画について問う

問4、立日橋の完成見通しについて問う

答、都市整備部長

答1、元年度から都用地買収に着手して、立体交差を5年度までに終了できるように、現在努力をしています。

答2、2年度の計画は駅南側の区画整理事業として、3本の区画道路を作る予定です。

答、建設部長

答3、都と協議し、実現に向けて、引き続き努力します。

答、都市整備部長

答4、3年4月1日を全面開通の目標に置き進めています。

板垣 正男

(日本共産党)

日野台経由バス路線新設について

問、京王帝都との協議と新設を踏まえた市側の考えを問う

答、企画財政部長

現在、京王帝都が乗降客の調査をすることになっており、その結果により協議が必要ですが、できるだけ会社の自主路線で運行の実現を目指していきたいと考えています。

答、市長

企業は採算のとれない仕事はしないというところであり、そこで、市内循環バス公社というふうなことを考えてはどうかという状況もあります。

矢頭橋歩道整備の見通しについて

問、東京ガス、水道部等との協議の進展状況について問う

答、建設部長

東京ガス、水道部には供給ルートの移設をお願いし、現在、両者にJR中央線を横断しないで供給できないかを検討していただいております。

下水道の促進について

問1、過去15年間における道路整備・下水道整備の計画遅延について問う

問2、今後の計画を問う

答、市長、都市整備部長

答1、生活環境の整備は、市の発展に合せ計画し、人口急増時には学校施設等が先行され、ハードなまちづくりは、一定のテンポと時間を要しつつ、努めて遅れとみられないよう取り組んできました。

答2、都市計画道路整備率は平成4年度着工予定ですが、この中で多摩川中央幹線は、都市計画道路3・4・8号の間にJR中央線以西をこのようにしたら早期完成できるかを検討しているところでです。

内田 勲

(市民クラブ)

日野市全域の道路整備・拡張及び下水道整備について問う

問1、万願荘・日野駅間のバス路線の確保を問う

問2、高幡一歩橋・市役所間のバス路線の確保を問う

答、企画財政部長

答1、京王バスに対し、現状の立川、日野を結ぶ2種路線の増発を交渉してまいります。

答2、検討を進めてまいります。

市民の森スポーツ公園の運用と維持管理について問う

問、午前9時以前のグラウンドの開放と公園管理を問う

答、社会教育部長

開放は前向きに対応し、維持管理は、今後も安全で快適な環境を提供してまいります。

沢田研二

(市民クラブ)

当面する行政的課題について

一、公共下水道の整備計画と促進について

問1、おこなっている現況のどこに問題があったのか。

問2、今後の整備計画は。

問3、浅川処理場の活用計画。

答、市長、福祉部長

答1、今、現実に描き得るのは、確保し得る土地に可能性の高い手段で、内容のいい状況を作り出すと考えています。

答2、行政が中心となって、いろいろな手順があるが、都市化が早くて整備が後になったという感もあり、これらについてはいくつかの要因もありました。しかし、今は、多摩川流域下水道計画に沿って、一日も早い供用開始を目指しているところです。

答2、市全域の整備計画をできるだけ短期間で行うよう、努力すべき課題と考えます。

公的住宅政策として、今後努力すべき課題と考えます。

古賀 俊昭

(自由民主クラブ)

森田市長に義務教育の完全実施を求める

問、小・中学校が音楽祭、映画鑑賞教室など授業の一環として市民会館を使用する際は、市が全額経費負担するのが憲法の精神に合致すると思ふが。

答、市長

学校行事をきちんと把握をして、予算計上をしておく。また、年度途中ではある行事も考えられるので余裕のある予算を用意し、父母負担が突然加わることにならないようにと考えてまいります。

職務給の原則に反する「不完全通し号俸制」の完全是正を求める

問1、給与が勤務に対する反

答、建設部長

答3、処理場の面積8haについては4分割で施設を作りこの中には公式の野球場、テニスコート等が予定されます。

二、医療体制の充実と、福祉行政の効率的運用について。

問1、病院建て替えの構想は。

問2、分散化された福祉行政を効率的に運用できないか。

答、市長、福祉部長

答1、今、現実に描き得るのは、確保し得る土地に可能性の高い手段で、内容のいい状況を作り出すと考えています。

天野 輝男

(自由民主クラブ)

市内用水の清流を取りもどすために、下水道の完備が急務である。具体的な計画がない今日、用水の徹底した清掃を要望する

問、用水に浄化槽の水や雑排水を流しており、場所によっては臭気が漂っている所もあり徹底した清掃を要望する。

答、市長

生活排水の流入により、現状の地域があることは、我々も頭を悩めております。予算を増やすとか、機動力を入れ業者に依存する面も改善のためには必要と思ひます。御指摘のとおり取り組みます。

ごみ収集は公平に市民サービスに徹せよ

問、豊田南区画整理事業の中で豊田地域の活性化をはかる計画に取り組んでほしい。

また、東町の区画整理事業で道路予定地に対する対応を十分に検討してほしい。

答、都市整備部長

ご提案のありました件は、参考に検討してまいります。

東町地区の件は、市の考え方を十分説明し、ご理解いただくよう努力する予定です。

鈴木 美奈子

(日本共産党)

住都公団の多摩平団地建て替え調査開始をむかえ住民の声をいかに再度問う

問1、多摩平団地の建て替えについて住都公団は市に対して調査にしたい旨伝えていると聞きますが、市はどのような姿勢で住都公団に臨んでいるのか問う

問2、住民の声をどのような形で聞き、住都公団にその声を反映させていくのか問う

答、市長

答1、多摩平の建て替えについて公団から市に相談はまだありませんが、住民の不安、応じられる部分、応じられない部分等、これらの見解に立ち市民にかわって問題を解決する。その上で建て替えを進

問1、全員入所対策について問う

問2、職員配置について問う

問3、施設の拡充について問う

答、福祉部長

答1、児童数の減少に反し学童保育児が増加している。また地域により差が生じる中で、現状解消に向けて努力していきたいと考えています。

答2、児童20名に対し指導員1名の割りで配置し、50名の定員には3名で対応しています。

答3、学校教育に支障のない範囲で土地を借り独立した学童クラブの設置を考えます。



カタクリ

